

第3回教育文化専門委員会での主な意見

(学校教育)

- ・「自尊感情」という表現は、業界用語として適切な表現なのか。わかりづらいのではないかと。

(学校の適正配置)

- ・「地域の意見も配慮しながら」とあるが、自分の地域から学校がなくなることには大体みんな反対であることから、この表現でいいか検討して欲しい。

(通学路の安全確保)

- ・通学路の安全確保対策について、変更前にはなかった「警察・道路管理者」という文言は、通学路の状況だけでなく人的な情報も得ながらと捉えられるので、大事にしてもらいたい。

(教員の情報活用能力)

- ・「情報活用能力」といじめは密接に関係しており、一昔前はネット掲示板等である程度チェックできたが、今は LINE など外から見えないところで行われている。一番情報活用能力が遅れているのが教員なので、適切な指導をするための研修を取り入れていくべき。

(コミセン等の利用)

- ・地域で活動する場合、公民館やコミセンの利用が便利であるが、どうしても職員と市民の間に垣根がある事が多く、気軽に行けるようになっていないので、もう少し使いやすくなるような方法を検討して欲しい。

(子育て環境づくり)

- ・家庭教育講座や子育てグループ活動に参加できず、親が孤立してしまうことがあるので、受診率 100%の乳幼児健診などの機会をうまく捉えて、孤立して悩んでいる親がなるべく出ないように配慮していただきたい。

(地域行事への人材提供)

- ・子ども会などで何か行事をするとき「適当な人材はいないか」とよく聞かれるが、人材をピックアップしたものをコミセンや児童館に提供していただければもっとよくなるのではないかと。

(男女共同参画)

- ・「男女共同参画の推進」のところは3行にわたって1文になっているが、もう

少しわかりやすい表現にして欲しい。

- ・「様々な立場や世代の方」とあるが、こういうときに「方」というのはないのではないか。「人」でもおかしいし、たった1文字だが考えていただきたい。

(出羽三山の世界遺産登録)

- ・出羽三山の世界遺産への取組みについて、削除との事だが、市として総括すべきではないか。

(文化・資源の継承)

- ・文化や資源の「調査、収集、保存」には、話を聞いたり後世の人に伝えていく場が大切なので、「交流の場」という言葉を盛り込むことはできないか。

(スポーツ振興)

- ・施策の方向のところで、トップアスリートならともかく、一般市民の健康のために「人格形成」という表現は固すぎて合わないのではないか。
- ・「市民が主体的に」というのは、好きな人だけがというイメージがある。「より多くの市民がスポーツに親しむ」というようなやわらかい表現のほうがいいのではないか。
- ・「トップアスリート育成活動の」は、「トップアスリートの育成活動の」としてはどうか。

(東京オリンピック)

- ・東京オリンピックに向けた合宿の誘致について、5年の間に具体的にどんな種目を呼ぶか、宿泊施設、調整相手のチームなど、細かく段取りをお願いしたい。

(国際交流)

- ・「国際交流の推進」について、施策の方向の一文が非常に長く理解しづらいので、もう少しわかりやすくして欲しい。

(致道館)

- ・致道館についても何か具体的に触れるべきものはないか確認して欲しい。